



福岡医発第 834 号 (地)
令和 5 年 6 月 21 日

各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会
会 長 蓮 澤 浩 明
(公 印 省 略)

タンザニア連合共和国及び赤道ギニア共和国における
マールブルグ病の終息について

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

タンザニア連合共和国及び赤道ギニア共和国におけるマールブルグ病の発生については、令和 5 年 2 月 22 日付福岡医発第 3204 号 (地) 及び令和 5 年 3 月 30 日付福岡医発第 3528 号 (地) をもって貴会宛ご連絡いたしました。

今般、厚生労働省より日本医師会を通じて、タンザニア連合共和国においては本年 6 月 2 日 (現地時間)、赤道ギニア共和国においては本年 6 月 8 日 (現地時間)、世界保健機関 (WHO) が新たな症例が 42 日間発生していないことを受けマールブルグ病の終息を発表した旨、周知依頼がありました。

今回の流行では、最終的にタンザニア連合共和国では計 9 例 (うち死亡 6 例)、赤道ギニア共和国では計 40 例 (うち死亡 35 例) が報告されております。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了解いただき、貴会会員への周知方につきご高配の程よろしくお願いいたします。

小郡三井医師会より

感染症対策担当理事 橋本朋也
会長 島田昇二郎

日医発第 555 号（健Ⅱ）
令和 5 年 6 月 14 日

都道府県医師会

感染症危機管理担当理事 殿

日本医師会感染症危機管理対策室長

釜 菫 敏

タンザニア連合共和国及び赤道ギニア共和国におけるマールブルグ病の終息について

タンザニア連合共和国及び赤道ギニア共和国におけるマールブルグ病の発生については、「タンザニア連合共和国におけるマールブルグ病の発生に係る注意喚起について」（令和 5 年 3 月 24 日付日医発第 2397 号（健Ⅱ））、「赤道ギニア共和国におけるマールブルグ病の発生に係る注意喚起について」（令和 5 年 2 月 16 日付日医発第 2177 号（健Ⅱ））をもって貴会宛ご連絡いたしました。

今般、厚生労働省より本会に対し、タンザニア連合共和国においては本年 6 月 2 日（現地時間）、赤道ギニア共和国においては本年 6 月 8 日（現地時間）、世界保健機関（WHO）が新たな症例が 42 日間発生していないことを受けマールブルグ病の終息を発表した旨、標記の周知方依頼がありました。

今回の流行では最終的に、タンザニア連合共和国では計 9 例（うち死亡 6 例）、赤道ギニア共和国では計 40 例（うち死亡 35 例）が報告されております。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知のうえ、郡市区医師会、関係医療機関に対する周知方について、ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

事 務 連 絡
令 和 5 年 6 月 12 日

公益社団法人 日本医師会 御中

厚生労働省健康局結核感染症課

タンザニア連合共和国及び赤道ギニア共和国における
マールブルグ病の終息について（情報提供）

令和5年3月21日（現地時間）、世界保健機関（WHO）より、タンザニア連合共和国におけるマールブルグ病の発生が報告されたことを踏まえて、「タンザニア連合共和国におけるマールブルグ病の発生に係る注意喚起について」（令和5年3月23日付け事務連絡）により、対応を依頼していたところです。

令和5年6月2日（現地時間）、世界保健機関（WHO）は、新たな症例が42日間発生していないことを受け、タンザニア連合共和国におけるマールブルグ病の終息を発表しました。今回の流行では、最終的に計9例（うち死亡6例）が報告されました。

また、令和5年2月13日（現地時間）、赤道ギニア共和国保健省及び世界保健機関（WHO）より、赤道ギニア共和国におけるマールブルグ病の発生が報告されたことを踏まえて、「赤道ギニア共和国におけるマールブルグ病の発生に係る注意喚起について」（令和5年2月14日付け事務連絡）により、対応を依頼していたところです。

令和5年6月8日（現地時間）、世界保健機関（WHO）は、新たな症例が42日間発生していないことを受け、赤道ギニア共和国におけるマールブルグ病の終息を発表しました。今回の流行では、最終的に計40例（うち死亡35例）が報告されました。

つきましては、貴会会員に対し、周知方よろしくお願い申し上げます。